

日本学術会議

若手アカデミー 地域活性化に向けた社会連携分科会（第25期・第7回）

議事要旨

日 時 令和5年8月7日（金）15:00～17:00
会 場 ビデオ会議
出席者 加藤、高槻、近藤、寺田、小野、笠井、岸村、標葉、新福、田井、高田、
田中、山田
欠席者 前川
オブザーバー 松中

議 事

（1）これまでの活動の振り返り（第5回分科会以降）

1）公開シンポジウム「若手研究者をとりまく評価－調査結果報告と論点整理－」

小野委員より、上記シンポジウム（2022年10月開催）の当日の状況、アンケート結果の概要、開催前後の学協会や大学等との意見交換についての報告がなされ、意見交換を行った。

2）アカデミックインターン

高槻委員及び高田委員より、神戸大学附属中等教育学校の高校生を対象として実施したアカデミックインターンの成果として、①参加者がインターンでの学びを含む卒業研究で学内最優秀賞を受賞したこと、②近隣他校を対象とした同様のインターンの実施計画（2023年11月予定）が報告され、意見交換を行った。

3）その他

山田委員より「人口縮小社会における問題解決のための検討委員会」における議論について、加藤委員より若手アカデミー見解及び学術フォーラム「2040年の科学・学術と社会を見据えて取り組むべき10の課題」における本分科会の貢献についての報告がなされ、各々について意見交換を行った。

（2）次期に向けた課題整理

「地域」という視点は、人口縮小、イノベーション、評価、地域の経済発展・活性化など、学術と社会を取り巻くさまざまな事案に関わるため、何らかの形で関連の議論や取り組みを継続することが望ましい。前述の取り組みの成果に関しても、評価の在り方についての継続的な議論と積極的な発信が必要であり、アカデミックインターンなどの高大連携や多様なキャリア構築に関わる活動の面的展開のための議論と実践の積み重ねも必要である。

（3）その他

本分科会会合の議論の結果は、9月の若手アカデミー全体会合で報告予定である。